



とねしょうかわらばん

がつ にちばん
6月22日版



2年生の体育では、ゴム跳びに使うゴムを教具として、友だちがピンと張ったゴムを飛び越える学習をしていました。ゴムとゴムの間の距離が一定になっていないことから、様々なリズムで飛び越える心地よさを体感していました。低学年における「障害走」は高学年のハードル走につなげていきます。ゴム1本で様々な学習の場が設定できます。低学年の子どもたちは体を

動かしながら楽しみながら技能を習得していきます。



新型コロナウイルス感染防止策で、毎日のように子どもたちには手洗いを徹底しております。左の写真は授業と授業の合間で手洗いをしている様子です。登校してから教室に入る前の手洗いだけでなく、教室移動の際にも手洗いをし、共有物を安心して使用できるよう指導を徹底しています。手洗いも随分習慣化されてきました。



左の写真2枚は、1年生の国語「どうやってみを守るのかな」(説明文)の学習です。低学年(特に1年生)の国語の授業では、教材文を何度もしっかり声に出して読み、書かれている内容を具体物等で理解し、その内容を表現して実感するといった学習がとても重要になってきます。左上の写真は、ヤマアラシがトゲを出して(写真では黄色い刷毛をトゲに見立てています)外敵から身を守る場面を表現しているところです。

また説明文の授業では、文章構成についても学習をします。左下の写真では、「ヤマアラシ」と「アルマジロ」の身の守り方についての説明文を上下に並べ、同じ書き方のところに同じ色で囲ませることで、この説明文の文章構成に気づかせることを学習していました。

